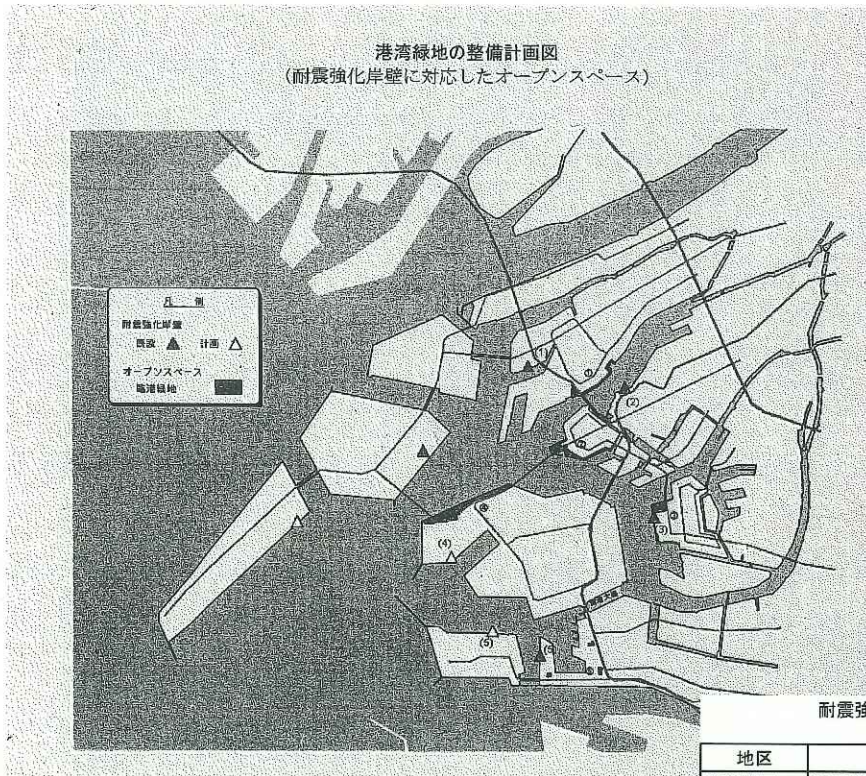


# 防災緑地位置図



耐震強化岸壁の緊急物資等の一時保管、荷捌き等として利用可能なオープンスペースを確保する。

耐震強化岸壁に対応したオープンスペース

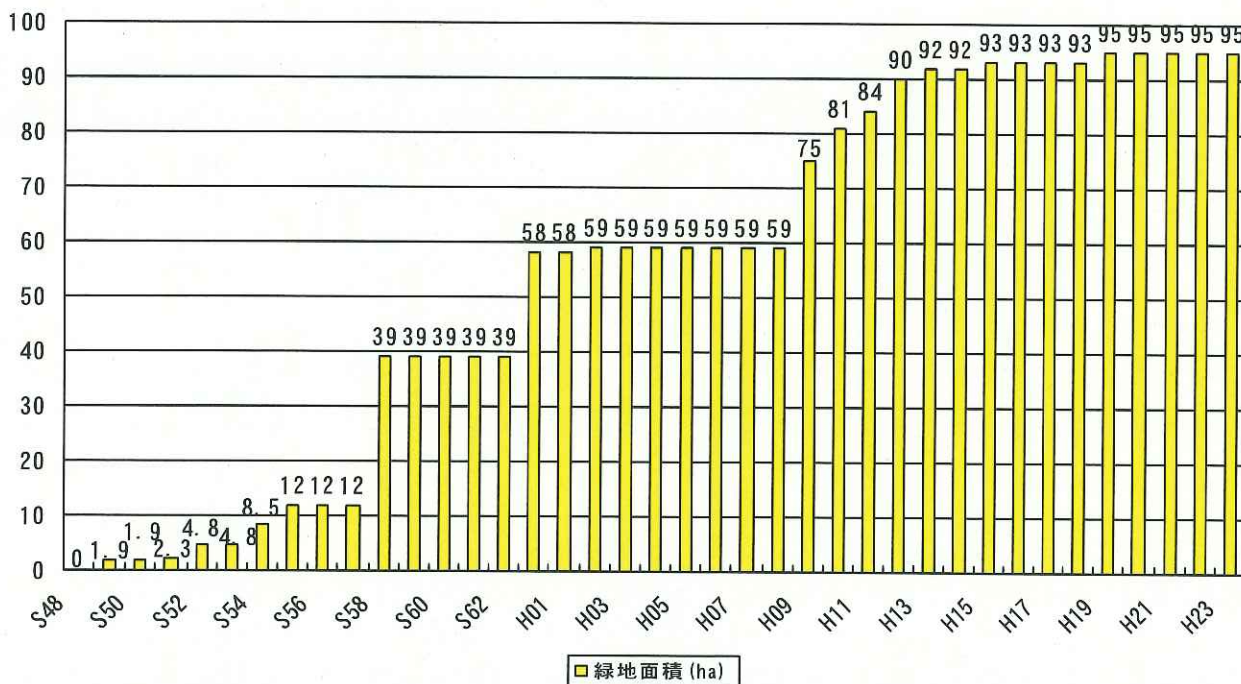
地区	名称	対応する耐震強化岸壁
此花地区	①此花西部臨港緑地	(1)北港岸壁
港 地区	②築港緑地	(2)安治川第1号岸壁
大正地区	③鶴浜緑地	(3)鶴浜岸壁
南港地区	④南港北緑地	(4)R1・2岸壁
	⑤フェリー前臨港緑地等	(5)A、F7岸壁

## 整備面積の推移

・港湾緑地の整備については、平成23年4月末現在で約95ha（計画面積 約136ha）であり、昭和58年に開園した大阪南港野鳥園や昭和63年の北港ヨットハーバーの供用等、昭和48年の港湾法の一部改正以降、整備面積は増加している。また、港湾計画の緑地面積も増加している。

（平成22年度に国庫補助事業から社会資本整備総合交付金へ移行）

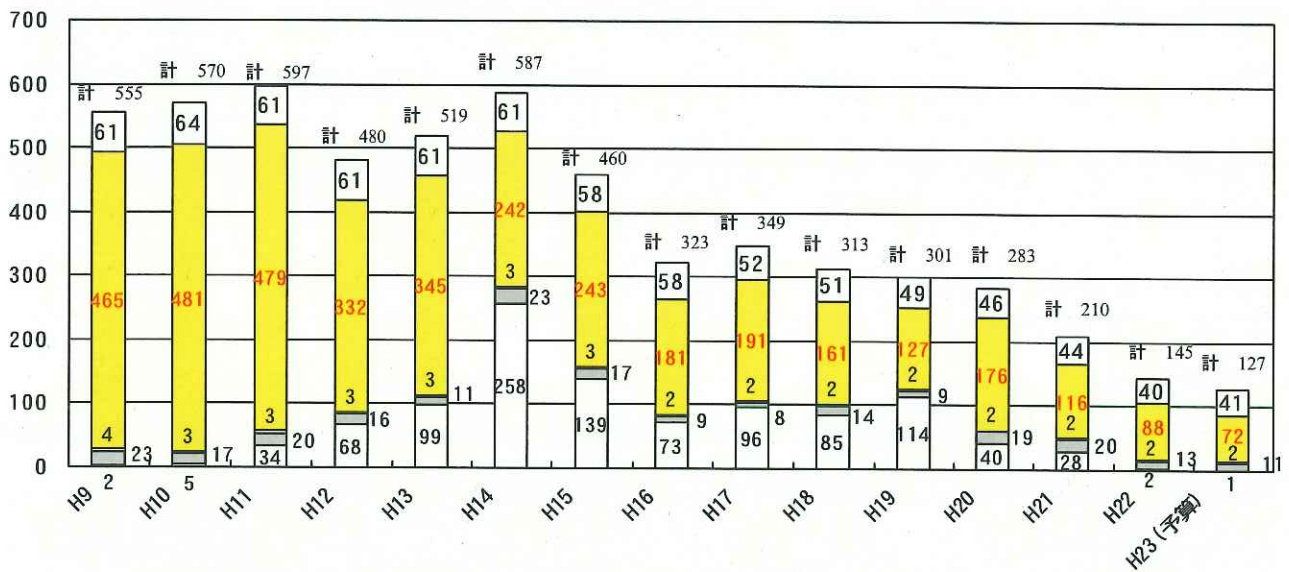
港湾環境整備事業（補助）緑地の整備面積 表



## 事業費の推移

・市の財政状況が厳しくなり、港湾局の一般会計について、事業費の縮減傾向が続いている。

港湾局決算の推移 (億円)



□ 港湾環境整備事業 □ 港湾地帯防災事業 □ 大阪港振興事業 □ 大阪港修築事業 □ 経常経費

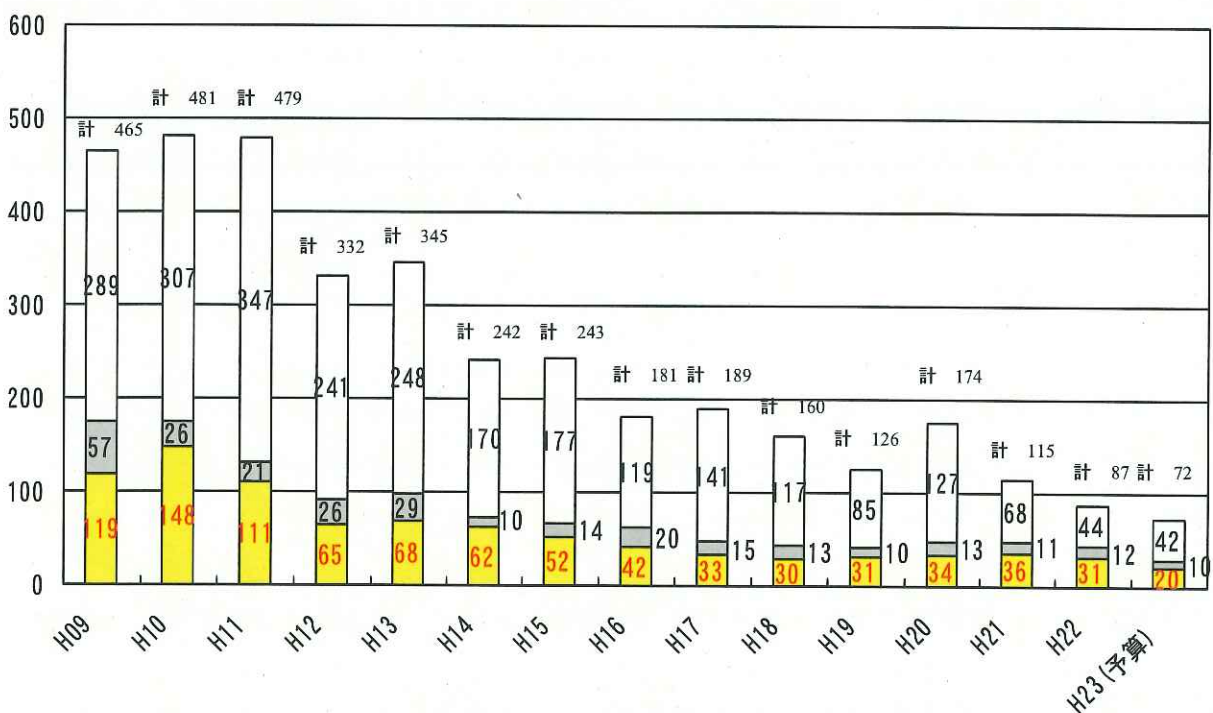
※港湾環境整備事業 : 新人工島土地造成等  
 ※大阪港振興事業 : 大阪港の宣伝普及等  
 ※経常経費 : 維持管理経費

※港湾地帯防災事業 : 海岸施設の建設・改良等  
 ※大阪港修築事業 : 港湾施設の建設・改良等

## 事業費の推移

・大阪港修築事業決算の中で、本事業の対象地区（在来・その他）の事業費の推移についても、縮減傾向となっている。

大阪港修築事業決算の推移 (億円)



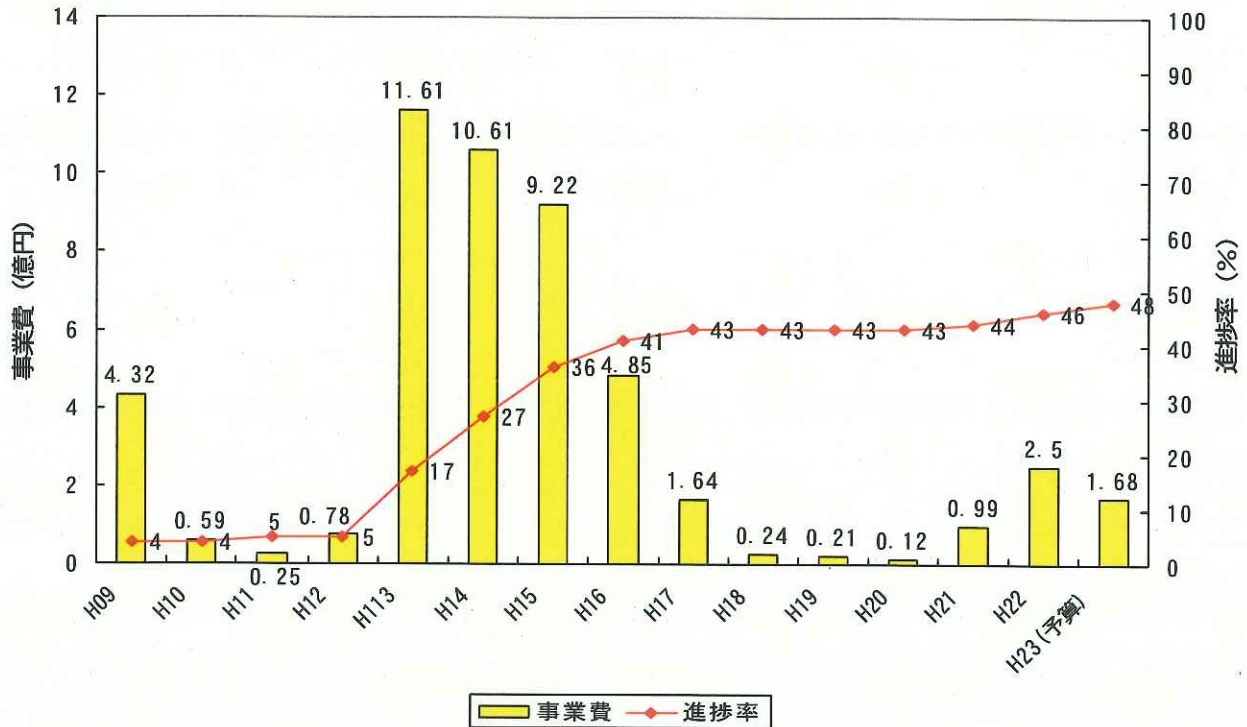
□ 在来・その他 □ 咲洲 □ 夢洲・舞洲

## 緑地の事業費と進捗率の推移

・中央突堤臨港緑地（物揚場整備事業含む）

本緑地は、平成9年度より事業着手し、平成13年度から一部供用（約1.7ha）を行っている。平成18年度当時の事業再評価より、局事業費の範囲内に限定して事業を実施している。

（進捗率は事業費ベース）



10

## 局運営方針に照らした事業の位置づけ

・平成23年度港湾局運営方針において、重点的に取り組む主な戦略として、

- ①国際コンテナ戦略港湾の実現
- ②ハード整備・ソフト対策が充実した防災・減災体制の確立（防潮堤の耐震補強、橋梁の耐震化、大阪港地震・津波アクションプラン）
- ③施設の適切な維持管理の充実
- ④企業誘致と都市基盤の充実
- ⑤国内外からの観光客を呼び込む施策の強化

上記の5つとしており、本事業の重点化の位置付けはない。

11

## 今後の事業費のシミュレーション

・本区域の一部を埋め立てて緑地造成を行うこととしており、埋め立てが完了するまでは、既存区域の緑地整備を行い、埋め立ての進捗に合わせて埋立部の緑地整備を行う計画である。しかし、埋め立ての前段となる護岸造成において、基礎工事が遅延したこと、また公共残土の受け入れ時期が延伸する見込みとなったことから、埋立の工事期間を延伸している。

・さらに、本市の近年の財政状況が厳しいことから、さらに限定的な実施になるため、完了予定年度が延伸している。

